

令和7年6月4日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…デイサービスセンターらいふ嫁島

サービス種類…地域密着型通所介護

会議開催日…令和7年6月4日

開催場所…らいふ嫁島2F出席者

事業所	2人	利用者	1人
利用者家族	人	地域代表者	1人
松江市職員	人	包括支援センター	1人
知見を有する者	人	その他（ ）	人

1・利用状況・活動報告

*毎月発行している「Life newspaper」にて日頃の様子や外出時の様子を説明、報告。

*実習等受け入れ

県立松江養護学校 乃木校舎より 高校一年生 1名令和7年2月13日～2月20日
デイサービスご利用者様の入浴後の髪を乾かす（ドライヤー）整容・お茶だし塗り絵、切り絵、手作業の補助や見守り・レクレーションの補助。

平均年齢 86歳

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
月	2	1	3	3	0	0	0
火	2	1	2	2	1	0	1
水	1	1	4	1	0	0	0
木	2	2	2	2	0	1	0
金	1	1	4	2	1	0	1

2・事故・苦情・ヒヤリハット

①利用者 84歳 女性 要介護1 認知度Ⅱa

(発生状況) 事実を記載

デイの昼寝時間中、急にトイレに向かわれ玄関付近で見えなくなり駐車場のロータリー付近に立っておられる。どうしたのか聞くと、「家に帰ろうかと思った。寒くてやっぱりいけんだった」と施設に帰って行かれた。歩行もいつもより早く、目もギラギラしている。その後、促して寝床に戻っていただいた。

(発生直後の緊急処置)

急に声をかけると転倒されるので刺激しないよう誘導して帰っていただいた。

(利用者・家族への説明内容および施設への要望)

連絡帳に内容を報告し、送迎時にも義娘に報告しました。

(事故原因または「ヒヤリ・ハット」の場合は防ぐことができた理由)

トイレのあと玄関までは確認していたので早く見つけることができた。暖かい日が続いていたが、その日はたまたま寒かったので外に出てみたものの帰る気がそがれた。

(今後の対策)

見守りの強化 … いつも休んでいることが主だった人でも急な行動をすることがあるので、常に見守りは必要であることを確認。必要があれば玄関等にセンサーの設置を検討。

②利用者 90歳 女性 要介護2

(発生状況) 事実を記載

昼食が始まり少しするとうつむき状態になる。声をかけると、うなづくことはされるも冷や汗あり。顔面蒼白後、意識消失あり。反応も無し。二人介助にて床に臥位になり声をかけるとうなづき反応返ってくる。少しすると喋ることが出来始め「胸が苦しい」「胸が痛い」と言われる。

(発生直後の緊急処置)

デイサービス看護師を呼び状況説明。訪問看護、ケアマネに連絡する。

主治医の先生に報告し救急搬送の指示が出たため救急車を要請する。

(利用者家族への説明内容および施設への要望)

お嫁様にも連絡する。現在入居している有料老人ホームに連絡し病院で交代していただく。

(今後の対策)

状況失神は誰でもなりうる事なので利用者様の表情など注意する。日頃から利用者様の行動一つ一つを気をつけて注視するよう心がける。

3・意見交換

地域包括支援センターさんより

認知症の方には無償で GPS の貸し出しがあるので利用されるとよい。また高齢者見守りネットワークの活用するのも良いとのこと。

昼食を利用者の方と手作りするのは魅力的なので介護職員の人数が確保できればぜひ再開してほしい。

玉湯町または宍道町の方は受け入れ可能かと聞かれ、可能と返答。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○